

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(5月下旬から6月上旬)と比べて①良くなっているか、②悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。	悪くなっている	4～6月期の落ち込みはほぼ予想通りだが、それからの持ち直しが力に欠いている模様。実質賃金の低下傾向を反映した。実質雇用者所得の低迷がその背景にある。7月は有効求人倍率の改善傾向にも頭打ち感が見られ、正社員の有効求人倍率は低迷が続く。企業も、景気ウォッチャー調査の結果を見ると、先行き判断にやや消極的な面も出てきた。円安にも拘わらず、外需に期待できない状況が続いている。実際、8月の月例経済報告のトーンもやや弱まっており、予断を許さない状況になっている。
1-2	今後の経済のリスク要因について、300字以内でご記入ください。	—	最大のリスクは、実質賃金の低下傾向を反映して個人の購買力が伸びず、4～6月の反動減からの回復が進まないこと。円安にも拘わらず輸出が伸びないことは、日本の国際競争力低下も反映しているはずであり、海外景気の下振れもリスク要因。そのため、公共事業への依存を続けざるをえないが、これは経済の自律的回復には寄与しない。さらに、マネタリーベースとマネーストックのリンクが初めから完全にはずれているので、日銀の金融緩和策にもあまり期待できない。潜在成長率の低下が長期的に見て最大のリスク要因。
景気回復の拡大に向けた取組			
2-1	安倍内閣の目指す、経済の好循環シナリオについて、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。	—	好循環シナリオが実現できればそれに越したことはない。しかし、「中長期の経済財政に関する試算」(7月25日)に描いたシナリオは、過度に野心的であり、ここまでうまく行くか不透明。なかでも、全要素生産性(TFP)の上昇率を1.8%まで上昇させるのは、これまでの日本経済のトレンドから見てもかなり難しいのではないかと。経済再生ケースより参考ケースのほうが現実的。社会保障審議会年金部会でもこの点が問題になっているが、あまりに楽観的なシナリオを掲げるとほかの制度運営面のリスクも高まることにぜひ配慮していただきたい。
2-2	設備投資・企業収益、賃金・雇用、そして消費の拡大について、それぞれ進展しているとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。 ①設備投資・企業収益の増加	Yes	設備投資・企業収益はこれまで改善傾向を見せてきた。これは歓迎すべきだが、今後の動向にやや心配な面も出てきている。機械受注統計などを見ると、消費税増税に起因する反動減分を割り引いても、頭打ち傾向が見られ、先行きに不透明感が出てきた。建設着工床面積も減少傾向であり、設備投資の本格回復には時間がかかるのでは。より構造的には、人手不足やミスマッチなど供給制約が設備投資の抑制要因になりつつありことにも注意。

質問事項		選択式回答	記述式回答
2-2	②賃金上昇・雇用拡大	Yes	企業部門面の業績改善のプラス効果が、雇用環境の改善や賃金上昇にこれまでつながってきたことは否定できない事実。問題は、それをどこまで維持するか。失業率の低下自体は歓迎すべき材料だが、ほかの先進国と同様、供給制約やミスマッチが主因となっている模様。労働市場の効率性を高めることも重要な課題に。
	③個人消費の拡大	Yes	賃金上昇・雇用拡大、そして株価上昇が個人消費にプラスに作用してきた。しかし、インフレ率の上昇に伴って実質賃金が低下し、家計の購買力が低下していくと個人消費の拡大は維持できない。最近の小売売上低迷は、その兆しとなっている。消費税率の再引き上げは、それ自体としては個人消費にとってマイナス材料となるから、これまで景気拡大を牽引してきた個人消費が減速していくと予想するのが自然。
2-3	<p>昨年、経済の好循環に向けて、政労使会議が立ち上がり、「経済の好循環実現に向けた取組」との文章がまとめられました。</p> <p>その中に記載されている4つの取組(賃金上昇、中小企業等支援、非正規雇用労働者の処遇改善、生産性向上・人材育成)について、取組が進んでいるとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。</p>	No	(4つの取組のうち、非正規労働者の処遇改善についてのみコメント)非正規雇用者の処遇改善を目指すのであれば、組合健保や厚生年金など被用者保険の適用範囲を非正規労働者に広げることを最優先に目指すべきではないか。それが短期的に難しければ、組合健保や国民年金の保険料負担のあり方を再検討し、セーフティーネットから抜け落ちる人をできるだけ抑える方策を目指すべき。
自由テーマ			
3	<p>その他、政府の政策課題等について、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。</p>	—	<p>財政再建や、社会保障改革など再分配に関わる政策課題は、経済成長の達成によって解決していこうというのが、現在の政策スタンスだと思われる。しかし、その実現のためには、「中長期の経済財政に関する試算」に示されるように、かなり楽観的なシナリオを想定せざるを得ず、実際、そのような想定を政府は置いている。そこに大きな危惧を感じる。年金財政の持続可能性も、この楽観的なシナリオにかなり依存している。もちろん、潜在成長率を大幅に引き上げることができれば問題はないが、現行の政策パッケージはやや力不足のように思う。</p>